

# 傍聴席 満員御礼!

満員御礼

6月30日に行われた第2回定例会の一般質問の傍聴には、過去最高となる43人の来場をいただきました。

今回は、傍聴された皆さまのうち9人の方の感想を掲載します。

今後も、議会の傍聴をお待ちしております。これまで傍聴したことがない方も、気軽にご来場ください。

## 傍聴された方々の声

● 6月30日の定例議会を初めて傍聴して来ました。  
町長さんの答弁も議員さんの質問も私達の身近なことばかりでわかりやすく、これからは機会があればまた傍聴したいと思っています。  
(70代 女性)

● 今回の議会は町長が変わって初めての議会でした。傍聴席が満席になり途中で席を譲り控え室で聴きました。地元行政区出身の議員がどのような質問をするのか関心がありましたが、町長も真摯に答えていただき有意義な一般質問でした。それぞれの議員も真剣に討議しており、良かったです。傍聴者が多いと議員も張り合いがあると思います。今後もこのような議会を期待しています。  
(80代 男性)

● 議会だより63号で、正副議長就任の挨拶と議員活動の抱負を読み、新進気鋭5人の議員、加えて3人の女性議員が新たな風を吹かせることを期待してやまない。  
「あれもする。これも作る。」が不可能なことは承知しており、「何を優先し、何を我慢してもらうか。」について町民に誠実に向き合う姿勢でいて欲しい。  
一般質問では、町政の考え方や政策をただすることが本来的と考えるので、突っ込んだ再質問が求められる。また、再質問の答弁まで紙を読み上げている様子は、スムーズに進行しているようで緊張感に乏しいと感じた。  
普段の傍聴人数は少ないので、ポスターでのPRや、休日・夕刻開催などを検討されてはどうか。  
(80代 男性)

● 議員の壇上での一言一句は、住民の意思であり声である。「質問、質疑、討論」は、傍聴者及び同時に、住民の疑問だと思う。議員は積極的に行動し、町の重要課題を「もっと」町民に情報公開して意見を求める事が基本である様に思う。  
何を行うにしても、まずは「財源の確保、町の借入金の返済」が最重要課題。  
議員が町を正しい方向へ発展させる事が大切で、重要な役割だと思っている。  
(60代 男性)

● 普段なかなか聞くことのない議会で熊田町長をはじめ、議員の皆様が地域に対する熱き思いを知ることができ、大変心を打たれました。  
若い世代の方達が新十津川町を支えていくまちになることを望んでいます。これからはさらに活気ある元気なまちになることを願い私も行動しなければいけないと改めて感じる事ができました。  
初めて議会の傍聴させていただけただけに感謝いたします。ありがとうございます。  
(30代 男性)

● 町議会に行ってみて、たくさんの方が町のことに興味深いんだなと思いました。私も町の事はあまり知らなかったのでもごく勉強になりました。これからも、色々なことに目を向けて行きたいと思います。  
(60代 女性)

● 初めて議会を拝見し、大変勉強になりました。  
また傍聴を試みたいと思いますが、見学会場が4階だったので階段を昇るのが大変でした。1階か、せめて2階で見られるようなお部屋があるとうれしいです。  
(70代 女性)

● 6月30日。私は2回目の傍聴です。  
満席の中、新町長さん、新町議さんの一般質問が始まりました。午前中2時間あまりの中、緊張が伝わってきました。  
私の気が付いたことを1つ聞いてください。傍聴席のイスは一人掛けではなく長イスの方が良いと思いました。  
(70代 女性)

● 久しぶりに傍聴しました。  
新庁舎の計画は関心の有ることで、聴きにきて良かったと思いました。  
傍聴者が多かったのと、別の場所でも聴けると言っていたので、その場所を確認したかったです。  
(70代 女性)

※紙面構成の都合上、寄稿いただいた内容を要約または一部抜粋とさせていただきます。ご了承ください。

### 前号の訂正

議会だより第63号に誤字がありましたので訂正します。

- ・ 5ページ4段3行目  
【誤】 指示 → 【正】 支持
- ・ 同 7行目  
【誤】 町人 → 【正】 町民

### 議会広報広聴特別委員会 広報班です



わたし達が議会だよりをお届けします

鈴木 小玉 白石 青田  
進藤 西内 杉本